

公益財団法人自然保護助成基金
理事長 有賀 祐勝 様

年 月 日

第28期（2017年度）プロ・ナトゥーラ・ファンド助成 海外助成申請書（和訳）

1. プロジェクト名

絶滅危惧種XXXの保全

内容を簡潔に表現したものにしてください。副題は用いないでください。

2. 申請団

団体名	XXX 保全グループ		
申請代表者	(Prof.,Dr.,Mr./Ms.) 氏名：		国籍：
所属機関・役職	ABC大学 生物学部		
住所	自宅か所属機関どちらかの住所をお書きください。 (自宅/所属機関)		
電話	自宅：	事務所：	
e-mail		URL	
申請代表者の学歴・研究実績	枠のサイズを広げないでください。		

申請者の所属先（大学など）の名前ではなく、プロジェクトグループ名としてください。

3. プロジェクトの種類（一つ選択してください。）

- 生物多様性の保全 陸域・水域の保全 自然保護のための手法の開発 環境教育
 その他

4. プロジェクトの概要（200字程度）

本プロジェクトにおいて、本グループは何を目標としているのか、明確にお書きください。

送金時のレートにより、申請金額と送金額が異なる場合があるということを、あらかじめご了承ください。申請書には、現在のレートでドルから円に換算してお書きください。上限金額は円貨で150万円です。

5. 申請金額

1,499,000 円 (US\$ 13,500) (1\$ = 111円で換算)

プロジェクト計画書

1. プロジェクトの目的

(1) プロジェクトにおける、自然保護上の重要性および（あるいは）緊急性を簡潔にお書きください。（100字程度）

重要性

緊急性

重要性と緊急性をまとめて述べる場合は、重要性の枠内にお書きいただき、緊急性の枠は削除してください。

(2) 本プロジェクトで扱う問題の背景と、どのようにして本プロジェクトが立ち上がったのかについて、説明してください。

(3) プロジェクトの範囲、実施場所などについてお書きください。

現地の地図など

※注意※

- ・ フォントサイズは10ポイント以上。（英文は12ポイント以上）
- ・ 設問ごとに字数制限はありません。ただし、ページ内に収まるようにお書きください。
- ・ 写真や図を載せる際は、モノクロでも見分けの付く範囲内をお願いします。
- ・ ページを決して加えないでください。

2. 方法

(1) 調査手法、活動方法について簡潔にお書きください。

どのような戦略で、どのようなツールを用い、どのような分析手法を用いるのかなどについてお書きください。

(2) 予算計画において特記すべき点があれば、お書きください。

一つの費目に対する支出が多い場合は、その理由をお書きください。

(3) プロジェクトメンバーについて特記すべき点があれば、お書きください。

プロジェクトメンバーの専門性や、本プロジェクトにおける役割についてお書きください。

3. 期待される成果

(1) 本プロジェクトにおいて期待される成果を簡潔にお書きください。（100字程度）

(2) 期待される成果の詳細について、今後別の研究や活動に活かせるかどうかも含めて、お書きください。

本プロジェクトが今後どのように展開されていくのかについても、お書きください。

4. プロジェクトのスケジュール

年/月	内 容
17年 10月	助成決定. 前期受領書を事務局に送付.
11月	
12月	
18年 1月	
2月	
3月	中間報告書提出
4月	後期受領書を事務局へ送付
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	プロジェクト終了
10月	最終報告書, 会計報告書を提出
11月か 12月	成果発表会

5. 申請団体のメンバー

プロジェクトにおける役割	氏名	所属
責任者		
副責任者		
会計担当者		

日本人プロジェクトメンバーの名前と役割も含めてください。日本人メンバーが副責任や会計担当者になることもできます。

6. 日本人メンバー

氏名
所属機関/団体, 役職
住所 (自宅, 所属機関)
郵便番号 国
電話番号 _____ 携帯電話番号 _____ E-mail アドレス _____
学歴・研究実績

7. これまでの実績

本申請に関連する出版実績, イベントの開催実績, 活動実績などを, 3件をお書きください。

- a) 著者 (発表年), 論文タイトル, 雑誌名, 巻 (号) : ページ番号.
- b)
- c)

必ずしも申請代表者の実績である必要はありませんが, 本申請の内容に関連するものに限ります。

8. 他の助成金への申請状況

他機関の助成に申請中の場合には, 下記に機関名と金額を記入して下さい。

--

アンケート

(アンケートの記述のない申請書は受け付けません。記述内容は選考に影響しません)

I 申請者の本助成への応募は何回目ですか。

初めて ・ 2回目 ・ 3回目 ・ 4回目以上

II 過去に、申請者は本助成の助成金を得たことはありますか。ある場合は回数をお書き下さい。

ない ・ 1回 ・ 2回 ・ 3回 ・ 4回以上

III 今回の助成の詳細は、何で知りましたか。

当財団のWebページ/Facebook ・ 助成金情報サイト ・ メールングリスト
チラシ ・ 友人/知人から ・ その他 ()

IV 募集要項について、気になった点、わかりにくかった点があればお書き下さい。

V 本助成で、改善した方が良くと思われる事柄があればお書き下さい。

VI 本助成で、今後新たに取り組むと良くと思われる事柄があれば、お書き下さい。

支出計画書(1)

プロジェクト名:

助成申請額

US\$13,500.00

YEN: 1,498,500

自動的に算出されます。

←記入しないでください。

1\$= 111(現在のレート)

↑お手数ですが日本円に換金してください

(別紙「助成金費目一覧表」を参照)

US\$の合計金額は、申請書の申請金額と相違がないようにしてください。

円に換算した際、1000円未満の単位は四捨五入してください。申請書の1ページ目には、四捨五入した単位をお書きください。

費目	内訳	単価	数量	小計
a.器具・備品費	カメラ	\$500.00	8	\$4,000.00
				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
(合計)				\$4,000.00
b.消耗品費				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
(合計)				\$0.00
c.委託費				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
(合計)				\$0.00
d.賃金・謝金	野外調査スタッフへの賃金	\$100.00	40	\$4,000.00
				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
(合計)				\$4,000.00
e.旅費	日本人メンバーの調査地への旅費 (日本ー調査地, 往復)	\$900.00	2	\$1,800.00
	ガソリン代	\$50.00	20	\$1,000.00
				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
(合計)				\$2,800.00
f.交通・通信・運搬費				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
(合計)				\$0.00

- ・「費目一覧」をよくご覧ください。
- ・行が不足する場合は行を追加してください。
- ・なお、複数行追加によりページに収まらない場合は、ほかの費目の行を一部削除してください。

支出計画書(2)

費 目	内 容	単 価	数 量	小 計
g.図書・資料費				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
(合計)				\$0.00
h.印刷費	調査データの印刷費	\$1.00	1000	\$1,000.00
				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
(合計)				\$1,000.00
i.会議費	会議[日付]の際の昼食代	\$10.00	10	\$100.00
				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
(合計)				\$100.00
j.借用費	分析ツールキットの借用費	\$100.00	10	\$1,000.00
				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
(合計)				\$1,000.00
k.雑経費				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
				\$0.00
(合計)				\$0.00
l.助成成果発表会出席 経費	東京 - 大阪 (往復)	\$300.00	2	\$600.00
				\$0.00
				\$0.00
(合計)				\$600.00
助成申請額合計				\$13,500.00

日本人メンバーは必ず成果発表会にご出席ください。申請代表者が成果発表会の開催時期に来日している場合は、申請代表者と日本人メンバーの2名分の国内旅費を計上することができます。(ただし、この場合海外からの渡航費は対象外となります。)